

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2016年2月19日（当初設定日）から無期限です。	
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式
運 用 方 法	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

1805

iTrustロボ

運用報告書(全体版)

第9期

決算日：2025年2月18日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「iTrustロボ」は、2025年2月18日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 式 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率		
	円		円		%	百万円
5 期(2021年 2 月18日)	33, 041		0	51. 0	92. 2	6, 552
6 期(2022年 2 月18日)	33, 104		0	0. 2	95. 3	7, 113
7 期(2023年 2 月20日)	33, 736		0	1. 9	95. 7	7, 362
8 期(2024年 2 月19日)	52, 450		0	55. 5	94. 5	10, 909
9 期(2025年 2 月18日)	61, 315		0	16. 9	98. 1	12, 814

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

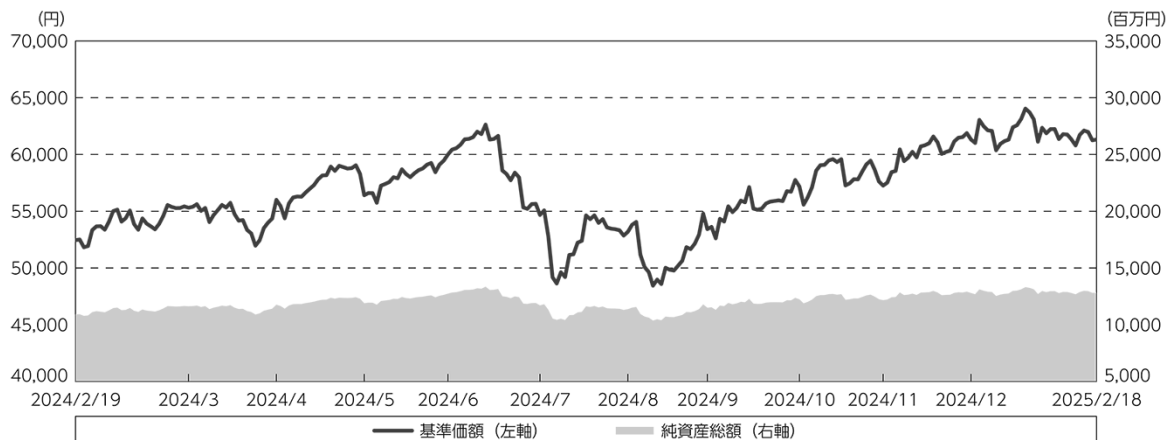
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2024年 2 月19日	52, 450	—	—	94. 5
2 月末	53, 378	1. 8	—	95. 9
3 月末	55, 306	5. 4	—	93. 5
4 月末	56, 001	6. 8	—	97. 1
5 月末	56, 412	7. 6	—	94. 6
6 月末	59, 999	14. 4	—	93. 8
7 月末	54, 674	4. 2	—	97. 3
8 月末	53, 185	1. 4	—	97. 0
9 月末	53, 422	1. 9	—	97. 0
10月末	57, 171	9. 0	—	94. 3
11月末	57, 259	9. 2	—	98. 1
12月末	61, 321	16. 9	—	98. 0
2025年 1 月末	62, 229	18. 6	—	94. 8
(期 末)				
2025年 2 月18日	61, 315	16. 9	—	98. 1

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、16.9%の上昇となりました。



(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

◇主な変動要因

上昇↑・実質的に組入れているエヌビディア（米国、半導体・半導体製造装置）や台湾セミコンダクター（台湾、半導体・半導体製造装置）などの株価が上昇したこと

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

- ・世界の株式市場は、期初の2024年2月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）の早期利下げへの期待感、堅調な米国経済指標や欧米企業の決算などを背景に上昇しました。4月にはFRBの早期利下げ観測が一時的に後退し、米国長期金利の上昇や中東での戦闘激化などを受けて下落しましたが、その後はインフレ圧力の鈍化などを受けてFRBやECBなどの早期利下げ観測が高まったことなどを背景に上昇傾向となり、さらにAI（人工知能）の利用拡大や世界的な景気回復への期待などから7月中旬ごろまで上昇しました。7月後半から8月上旬までは、米国の中国に対する半導体の輸出規制、欧州や中国の景気悪化への懸念などから下落しましたが、その後はFRBやECBの利下げ、景気減速懸念の後退、中国の大規模な景気刺激策などから上昇傾向に転じました。10月以降は、中東やウクライナ情勢への警戒感、FRBが追加利下げに対して慎重な姿勢を示唆したことや米国長期金利の上昇、ユーロ圏の景況感の悪化などから上値の重い推移となりました。また米国のトランプ次期政権の政策による米国と欧州や中国との関係の悪化、ユーロ圏や中国の景気への懸念なども重荷となりましたが、11月は、堅調な米国景気や良好な企業業績、FRBやECBの利下げ観測などから底堅い傾向が継続しました。12月以降は、FRBの利下げ観測の後退、米国のインフレ加速への警戒感や米国長期金利の上昇、また欧州での政治的混乱などへの懸念も重荷となって軟調に推移しました。2025年1月後半以降は、トランプ政権の関税政策に左右されて株価が乱高下する場面もありましたが、期を通じてみれば世界の株式市場は上昇となりました。
- ・為替市場では、期初の2024年2月からは、米国の景気減速やインフレ鈍化の兆しを背景にFRBの利下げ観測が強まった一方で、日本銀行による金融緩和政策の修正方針の後退の見方などを受けて7月初旬ごろまで円安・米ドル高傾向となりました。7月半ば以降は、米国消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことなどを受けてFRBの早期利下げ開始観測が強まったことや日本銀行が7月末に利上げを実施したこと、米国長期金利の低下などを受けて9月中旬ごろまで円高・米ドル安の動きとなりました。9月下旬以降は、FRBが事前予想より大幅な利下げを決定したものの追加利下げに慎重な姿勢を示唆したこと、日本銀行の追加利上げへの慎重な姿勢などから円安・米ドル高となりました。さらに米国大統領選挙でのトランプ氏当選を受けて米国のインフレに対する懸念が強まったこと、日本の衆議院議員総選挙で与党の獲得議席が過半数を下回り、政局の不透明感から日本銀行の金融政策が慎重になるとの見方などを受けて、11月半ばごろまで円安・米ドル高が進行しました。11月下旬には、FRBが利下げの継続方針を示したことや日本銀行の追加利上げ観測などから円高・米ドル安となる場面もありましたが、12月以降は、米国の堅調な景気や追加利上げペースの後退観測、米国のインフレ加速への警戒感や長期金利の上昇、日本銀行の追加利上げ見送り観測などを背景に再び円安・米ドル高となりました。2025年1月以降は、日本銀行の利上げ決定や追加利上げ観測、米国の長期金利低下などを背景に、期末にかけて円高・米ドル安が進行しました。

組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<ピクテ・ロボ・マザーファンドの組入状況>

主に日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	62.5%
ドイツ	9.6%
日本	7.9%
オランダ	7.0%
台湾	4.8%
中国	1.8%
フランス	1.4%



【期末】

国・地域名	組入比率
米国	64.9%
日本	10.8%
ドイツ	8.0%
オランダ	5.9%
台湾	5.7%
中国	3.1%

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
半導体・半導体製造装置	43.0%
ソフトウェア・サービス	29.7%
資本財	8.0%
メディア・娯楽	7.7%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.2%
ヘルスケア機器・サービス	2.8%
商業・専門サービス	0.5%



【期末】

業種名	組入比率
半導体・半導体製造装置	47.5%
ソフトウェア・サービス	26.3%
メディア・娯楽	8.1%
資本財	6.3%
ヘルスケア機器・サービス	6.0%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.6%
医薬品・バイオテクノロジー	0.8%

(注) 組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。また、業種はGICS（世界産業分類基準）の産業グループに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セールスフォース	米国	ソフトウェア	6.2%
アルファベット	米国	インタラクティブ・メディアおよびサービス	5.9%
エヌビディア	米国	半導体・半導体製造装置	5.6%
台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	4.8%
アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	米国	半導体・半導体製造装置	4.1%
シーメンス	ドイツ	コングロメリット	3.8%
インフィニオンテクノロジーズ	ドイツ	半導体・半導体製造装置	3.6%
ASMLホールディング	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.6%
NXPセミコンダクターズ	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.4%
ワークデイ	米国	ソフトウェア	3.3%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	5.7%
セールスフォース	米国	ソフトウェア	5.5%
アルファベット	米国	インタラクティブ・メディアおよびサービス	5.0%
インフィニオンテクノロジーズ	ドイツ	半導体・半導体製造装置	5.0%
ラムリサーチ	米国	半導体・半導体製造装置	4.9%
KLA	米国	半導体・半導体製造装置	4.2%
エヌビディア	米国	半導体・半導体製造装置	4.0%
アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	米国	半導体・半導体製造装置	3.9%
ASMLホールディング	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.8%
インテュイティブサージカル	米国	ヘルスケア機器・用品	3.2%



(注) 組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。また、業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

期末の組入上位銘柄は、

- 台湾セミコンダクター : 台湾の半導体ファウンドリー。ウェーハ製造、プローブテスト、組み立て、ファイナルテストのほか、マスクの製造・設計なども行う。
- セールスフォース : 顧客企業向けにクラウドベースのCRM（顧客関係管理）システムやSFA（営業支援）システムなどを提供するエンタープライズ・ソフトウェア企業。
- アルファベット : グーグルを傘下にもつ持株会社。ウェブベースの検索、広告、地図などを子会社を通じて提供。AI（人工知能）や自動運転の研究・開発においても世界をリード。
- インフィニオンテクノロジーズ : 半導体と関連製品の設計、製造と販売に従事。
- ラムリサーチ : 半導体の製造に欠かせない革新的なウェハ加工装置やサービスを提供する半導体製造装置メーカー。

などとなりました。

収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2024年2月20日～ 2025年2月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	51,314

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を四捨五入して表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(1) 投資環境

AIは、新たな設備投資サイクルの原動力となり、AIによる新技術への移行が中期的な収益創出と利益拡大に寄与すると予想される一方、電気自動車(EV)は現在、厳しい状況にあり、投資家はEV普及率が高い中国の大幅な需要回復に期待しているところです。短期的には、市場参加者は引き続き、世界各国の下下げ動向を見極めると同時に、マクロ環境を損ねる恐れのある地政学的リスクを注視しています。このような環境の中で、AI関連銘柄を含むロボティクス関連企業は少子高齢化を背景とした様々な社会的ニーズの高まりや技術革新などにより、中長期的に高い成長が期待されています。

(2) 投資方針

ピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<マザーファンド>

日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。特定の銘柄、国や通貨に集中せず分散投資を基本としリスク分散を図ります。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

特に競争力のあるテクノロジーを有している企業は、良好なファンダメンタルズを反映し、長期的なパフォーマンスは相対的に堅調であると考えます。また今後、M&A(合併・買収)が増加する可能性があると考えており、その巧拙によって勝ち組と負け組がより明確になると考えています。引き続き当ファンドは、ロボティクス関連分野で相対的にファンダメンタルズが健全で、安定したビジネスモデルを有する企業に注目していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月20日～2025年 2 月18日)

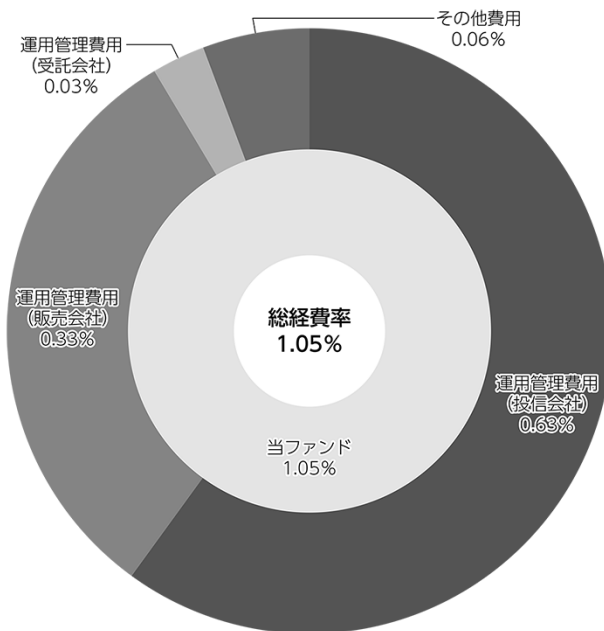
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 560	% 0. 987	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(355)	(0. 625)	・ ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(187)	(0. 329)	・ 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受 託 会 社)	(19)	(0. 033)	・ ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	31	0. 054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(31)	(0. 054)	・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料。株式の売買委託手数料には、運用指図に関する権限を委託した投資顧問会社が、売買仲介人から売買委託手数料の一部返戻を受けて、調査サービス提供の対価として証券会社等の調査機関に支払う調査費用が含まれることがあります。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0. 010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(6)	(0. 010)	・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	32	0. 056	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(25)	(0. 044)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0. 005)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(4)	(0. 007)	・ その他は、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	629	1. 107	
期中の平均基準価額は、56,696円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月20日～2025年2月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ・ロボ・マザーファンド	146,982	941,600	165,019	1,065,180

(注) 単位未満は切り捨てています。

○株式売買比率

(2024年2月20日～2025年2月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ピクテ・ロボ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	18,865,724千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,870,133千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

○特定資産の価格等の調査

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年2月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ピクテ・ロボ・マザーファンド	1,823,881	1,805,844	12,751,430

(注) 単位未満は切り捨てています。

○投資信託財産の構成

(2025年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ピクテ・ロボ・マザーファンド	12,751,430	98.8
コール・ローン等、その他	159,438	1.2
投資信託財産総額	12,910,868	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) ピクテ・ロボ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,357,698千円）の投資信託財産総額（12,802,011千円）に対する比率は88.7%です。

(注) ピクテ・ロボ・マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=151.67円、1カナダドル=106.86円、1英ポンド=191.30円、1ユーロ=158.87円、1スイスフラン=168.24円、1スウェーデンクローネ=14.18円、1香港ドル=19.49円、1新台湾ドル=4.6333円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,910,868,975
コール・ローン等	155,596,994
ビクテ・ロボ・マザーファンド(評価額)	12,751,430,489
未収入金	3,840,000
未収利息	1,492
(B) 負債	96,241,758
未払解約金	16,356,296
未払信託報酬	79,254,848
その他未払費用	630,614
(C) 純資産総額(A－B)	12,814,627,217
元本	2,089,979,079
次期繰越損益金	10,724,648,138
(D) 受益権総口数	2,089,979,079口
1万口当たり基準価額(C／D)	61,315円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)
(注) 期首元本額 2,079,972,586円
 期中追加設定元本額 490,340,751円
 期中一部解約元本額 480,334,258円
(注) 1口当たり純資産額 6.1315円

○損益の状況 (2024年2月20日～2025年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	44,052
受取利息	49,996
支払利息	△ 5,944
(B) 有価証券売買損益	1,837,322,641
売買益	2,047,606,661
売買損	△ 210,284,020
(C) 信託報酬等	△ 166,424,662
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,670,942,031
(E) 前期繰越損益金	3,758,072,199
(F) 追加信託差損益金	5,295,633,908
(配当等相当額)	(3,302,670,817)
(売買損益相当額)	(1,992,963,091)
(G) 計(D＋E＋F)	10,724,648,138
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	10,724,648,138
追加信託差損益金	5,295,633,908
(配当等相当額)	(3,303,978,158)
(売買損益相当額)	(1,991,655,750)
分配準備積立金	5,429,014,230

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(68,524,342円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,602,417,689円)、信託約款に規定する収益調整金(5,295,633,908円)および分配準備積立金(3,758,072,199円)より分配対象収益は10,724,648,138円(10,000口当たり51,314円)ですが、当期に分配した金額はありません。
(注) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用
当該費用は、ファンドに係る信託報酬のうち委託者が受ける報酬から支弁しております。

○お知らせ

該当事項はございません。

ピクテ・ロボ・マザーファンド

運用状況のご報告

第9期（決算日：2025年2月18日）
（計算期間：2024年2月20日～2025年2月18日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・ロボ・マザーファンド」は、「iTrustロボ」および「ピクテ・ロボ・ファンド（適格機関投資家専用）」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主 要 投 資 対 象	日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式
主 な 投 資 制 限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
	円	%	%	百万円
5 期(2021年 2 月18日)	35, 867	53. 3	92. 7	6, 520
6 期(2022年 2 月18日)	36, 480	1. 7	95. 8	7, 078
7 期(2023年 2 月20日)	37, 706	3. 4	96. 2	7, 327
8 期(2024年 2 月19日)	59, 524	57. 9	95. 0	11, 183
9 期(2025年 2 月18日)	70, 612	18. 6	98. 5	12, 751

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率
		騰 落 率	
(期 首) 2024年 2 月19日	円	%	%
	59, 524	—	95. 0
2 月末	60, 606	1. 8	96. 3
3 月末	62, 878	5. 6	93. 8
4 月末	63, 751	7. 1	97. 3
5 月末	64, 301	8. 0	94. 7
6 月末	68, 469	15. 0	93. 8
7 月末	62, 481	5. 0	97. 1
8 月末	60, 867	2. 3	97. 4
9 月末	61, 213	2. 8	97. 3
10月末	65, 602	10. 2	94. 5
11月末	65, 782	10. 5	98. 2
12月末	70, 528	18. 5	97. 9
2025年 1 月末	71, 635	20. 3	94. 8
(期 末) 2025年 2 月18日	70, 612	18. 6	98. 5

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、18.6%の上昇となりました。



◇主な変動要因

上昇↑・組入れているエヌビディア（米国、半導体・半導体製造装置）や台湾セミコンダクター（台湾、半導体・半導体製造装置）などの株価が上昇したこと
 上昇↑・円に対して米ドルなどが上昇したこと

投資環境

3ページをご参照ください。

組入状況

4ページをご参照ください。

○今後の運用方針

6ページをご参照ください。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月20日～2025年 2 月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 35 (35)	% 0.054 (0.054)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料。 株式の売買委託手数料には、運用指図に関する権限を委託した投資顧問会社 が、売買仲介人から売買委託手数料の一部返戻を受けて、調査サービス 提供の対価として証券会社等の調査機関に支払う調査費用が含まれること があります。
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	29 (29) (1)	0.045 (0.044) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	70	0.109	
期中の平均基準価額は、64,842円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに
小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月20日～2025年2月18日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 146	千円 817,070	千株 77	千円 475,984
外国	アメリカ	百株 4,465 (720)	千米ドル 50,221 (—)	百株 4,065	千米ドル 50,611
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	402	1,884	245	3,431
	フランス	—	—	219	839
	オランダ	28	2,127	15	1,281
	香港	401	千香港ドル 3,723	45	千香港ドル 381
	台湾	460	千新台湾ドル 39,550	650	千新台湾ドル 66,522

(注) 金額は受渡代金です。
(注) 単位未満は切り捨てています。
(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2024年2月20日～2025年2月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	18,865,724千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,870,133千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○特定資産の価格等の調査

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年2月18日現在)

国内株式

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末	
			株 数	株 数	評 価 額
電気機器 (100.0%)			千株	千株	千円
キオクシアホールディングス			—	18.8	44,349
安川電機			19.6	33.3	139,160
アドバンテスト			—	25.3	240,425
キーエンス			3.9	5	325,000
ファナック			52.7	57.1	254,266
東京エレクトロン			8.5	14.9	374,437
合 計	株 数 ・ 金 額		84	154	1,377,639
	銘 柄 数 < 比 率 >		4	6	<10.8%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

外国株式

銘 柄	株 数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
DYNATRACE INC	199	357	2,191	332,353	ソフトウェア・サービス
HUBSPOT INC	—	10	881	133,739	ソフトウェア・サービス
INFORMATICA INC - CLASS A	—	548	1,082	164,245	ソフトウェア・サービス
RINGCENTRAL INC-CLASS A	321	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ROCKWELL AUTOMATION INC	35	35	1,040	157,888	資本財
SALESFORCE INC	159	141	4,611	699,361	ソフトウェア・サービス
SERVICENOW INC	—	8	817	124,053	ソフトウェア・サービス
SNOWFLAKE INC-CLASS A	—	75	1,408	213,655	ソフトウェア・サービス
TWILIO INC - A	213	100	1,258	190,927	ソフトウェア・サービス
UIPATH INC - CLASS A	341	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	—	97	2,281	346,070	ヘルスケア機器・サービス
ELASTIC NV	143	170	1,932	293,168	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	176	286	3,245	492,196	半導体・半導体製造装置
ALPHABET INC-CL C	312	—	—	—	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL A	—	226	4,203	637,477	メディア・娯楽
ALTAIR ENGINEERING INC - A	189	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ANSYS INC	21	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	40	—	—	—	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	66	173	1,690	256,383	メディア・娯楽
COGNEX CORP	154	274	909	138,006	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
FIVE9 INC	202	344	1,380	209,372	ソフトウェア・サービス
ILLUMINA INC	—	63	639	96,982	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	54	45	2,722	412,885	ヘルスケア機器・サービス
KLA CORPORATION	32	47	3,534	536,075	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	23	—	—	—	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	—	501	4,146	628,839	半導体・半導体製造装置
MARVELL TECHNOLOGY INC	324	190	2,031	308,176	半導体・半導体製造装置
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	243	278	1,555	235,902	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY INC	199	205	2,049	310,880	半導体・半導体製造装置
NUTANIX INC - A	—	179	1,261	191,393	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	57	243	3,377	512,248	半導体・半導体製造装置
PTC INC	—	49	844	128,014	ソフトウェア・サービス
PAYLOCITY HOLDING CORP	22	—	—	—	商業・専門サービス
SYNOPSYS INC	26	15	833	126,486	ソフトウェア・サービス
TERADYNE INC	130	145	1,653	250,727	半導体・半導体製造装置
WORKDAY INC-CLASS A	81	104	2,695	408,801	ソフトウェア・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	108	82	1,845	279,849	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	3,884	5,004	58,127	8,816,161
	銘柄数<比率>	27	29	—	<69.1%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
SAP SE	90	30	855	135,990	ソフトウェア・サービス
SIEMENS AG-REG	156	70	1,596	253,706	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG	749	1,051	3,987	633,418	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	996	1,152	6,439	1,023,115
	銘柄数<比率>	3	3	—	<8.0%>
(ユーロ…フランス)					
DASSAULT SYSTEMES SE	219	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	219	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ…オランダ)		百株	百株	千ユーロ	千円
ASML HOLDING NV		28	41	3,013	478,805
小 計	株 数 ・ 金 額	28	41	3,013	478,805
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.8%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	1,244	1,193	9,453	1,501,920
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	4	—	<11.8%>
(香港)				千香港ドル	
BAIDU INC-CLASS A		454	810	7,277	141,845
小 計	株 数 ・ 金 額	454	810	7,277	141,845
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.1%>
(台湾)				千新台幣ドル	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		1,640	1,450	157,325	728,933
小 計	株 数 ・ 金 額	1,640	1,450	157,325	728,933
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<5.7%>
合 計	株 数 ・ 金 額	7,222	8,458	—	11,188,862
	銘 柄 数 < 比 率 >	34	35	—	<87.7%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) 一印は組入れがありません。

○投資信託財産の構成

(2025年2月18日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
	12,566,501	98.2
コール・ローン等、その他	235,510	1.8
投資信託財産総額	12,802,011	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産（11,357,698千円）の投資信託財産総額（12,802,011千円）に対する比率は88.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=151.67円、1カナダドル=106.86円、1英ポンド=191.30円、1ユーロ=158.87円、1スイスフラン=168.24円、1スウェーデンクローネ=14.18円、1香港ドル=19.49円、1新台幣ドル=4.6333円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年2月18日現在）

○損益の状況（2024年2月20日～2025年2月18日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,802,011,419
コール・ローン等	172,496,006
株式(評価額)	12,566,501,208
未収入金	57,646,081
未収配当金	5,368,008
未収利息	116
(B) 負債	50,128,434
未払金	46,288,434
未払解約金	3,840,000
(C) 純資産総額(A－B)	12,751,882,985
元本	1,805,901,652
次期繰越損益金	10,945,981,333
(D) 受益権総口数	1,805,901,652口
1万口当たり基準価額(C／D)	70,612円

<注記事項>
(貸借対照表関係)
(注) 期首元本額 1,878,826,777円
 期中追加設定元本額 246,959,287円
 期中一部解約元本額 319,884,412円
(注) 1口当たり純資産額 7,0612円
(注) 期末における元本の内訳
 iTrustロボ 1,805,844,685円
 ビクテ・ロボ・ファンド(適格機関投資家専用) 56,967円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	78,014,782
受取配当金	63,603,898
受取利息	13,936,908
その他収益金	500,158
支払利息	△ 26,182
(B) 有価証券売買損益	1,981,884,251
売買益	3,006,876,694
売買損	△ 1,024,992,443
(C) 保管費用等	△ 5,596,447
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	2,054,302,586
(E) 前期繰越損益金	9,304,641,197
(F) 追加信託差損益金	1,338,185,613
(G) 解約差損益金	△ 1,751,148,063
(H) 計(D＋E＋F＋G)	10,945,981,333
次期繰越損益金(H)	10,945,981,333

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。